

燦々

SANSAN

光り輝く



特集 新規就農者激励会 北海道農業・地域の担い手

新規就農者と常勤役員及び地区担当理事の集合写真

JAとまこまい広域
燦々光り輝く
No.報誌
216



■編集・発行■

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241
北海道厚真町厚真錦町10番地2
FAX 0145-2713941

令和2年7月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
mailto:info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

理事会報告

令和2年5月11日(月)に総合営農センターで第5回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



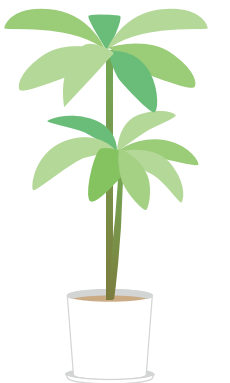
1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 3月末財務報告について
3. 組合員の異動について
4. 固定資産の取得、処分について
5. 令和2年度給与改定について
6. 令和2年度職員研修大会開催について
7. 令和2年度長期共済推進要領について
8. 令和元年度4支所水田農業振興基金の決算について
9. 小麦発芽不良に関する経過報告について
10. 経営定期点検の結果について
11. 経営定期点検元年度改善事項の対応について
12. 会計監査人の報酬等に関する同意書について
13. 職員教育訓練要領の一部改正について
14. 機構改革等に伴う業務分掌表・職務権限表の一部変更について
15. 不祥事対応要領及び役員責任調査委員会設置要領の改正について
16. 不祥事再発防止策の進捗状況について
17. 新型コロナウイルス対応について



1. 賦課金、料金・料率の改定方向案について



- 議案第1号 定期(決算)監査の回答について
- 議案第2号 行政庁に対する業務報告書の提出について
- 議案第3号 29年度道常例検査指摘事項に対する令和元年度末現在の改善状況について
- 議案第4号 穂別支所資材店舗・会議室の建設並びに設計委託及び指名業者について
- 議案第5号 職員業務規則の一部改正について
- 議案第6号 給与規定の一部改正について
- 議案第7号 従業員就業中災害補償規程の一部改正について
- 議案第8号 出資の減口と譲渡について



令和2年6月8日(月)に総合営農センターで第6回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 4月末財務報告について
3. 6月1日現在の農作物生育状況報告について
4. 組合員の異動について
5. 固定資産の取得、処分について
6. 第1四半期余裕金の運用報告について
7. マネロンガイドラインとのギャップ分析の実施について
8. コンプライアンス委員会報告について
9. 要改善JA要領・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中及び農林中金が定める事項の報告について
10. 令和2年度「支所の日」「固定資産確認」の実施について
11. 内部監査の結果について
12. 2年産米穀の出荷契約について
13. 元年産北海道米(うるち米)啓発普及事業報告について
14. 選果料金(ブロッコリー)の改定について
15. 2年度家畜共進会・枝肉共励会の予定について
16. 2年肥料年度(令和3年営農年度用)取扱い要領について
17. 厚真町長選挙候補者「宮坂 尚市朗 氏」への推薦状の交付について
18. 施設の入札結果について
19. 経済・販売部門の与信審査の結果について
20. 不祥事再発防止策の進捗状況について

新採用職員紹介

令和2年6月1日付で、経済部生活課(Aコープ厚真店)に新たな職員が加わりました。

【中途採用】

経済部生活課

おお さわ しょう ご

大沢 尚悟



- ①年齢/28歳
- ②出身地/苫小牧市
- ③出身校/苫小牧工業高校
- ④趣味・特技/民謡、尺八、車
- ⑤ご挨拶/いち早く仕事をこなせるように頑張りますのでよろしくお願い致します。

①農業を志した理由 ②どのような農業をしていきたいですか ③趣味や特技を教えてください ④五年後の自分にに向けて一言、今後の抱負

つち や しん ご
土屋 真吾さん(44)【早来支所】経営主:新規参入
経営体:野菜

- ①会社員時代に趣味で始めた家庭菜園にのめり込み農業に興味を持ちました。
- ②当面、面積は拡大せず中身を充実させていきたい。土作りを重視し、その中で栽培技術を磨いていきたい。
- ③趣味 音楽鑑賞、家庭菜園、読書、登山
- 特技 いつでもどこでもすぐ寝れる
- ④今の自分には想像もつかない様な事に取り組んでいてくれたら面白いなと思います。

やす い しん の すけ
安井 進乃輔さん(19)【追分支所】経営主:安井貴志
経営体:稲作・畑作・野菜

- ①美味しいメロンやお米を作りたいと思ったから。
- ②皆から美味しいと言われるメロンを作りたい。
- ③バレーボール
- ④しっかり農家やっていますか?もし早起き出ているのであればコツを教えてください。

いけ だ こう いち
池田 浩一さん(56)【追分支所】経営主:新規参入
経営体:野菜

- ①長年サラリーマンをしていましたが会社を早期退職したことをきっかけに、全く新しいことにチャレンジしてみようと思いました。アサヒメロンに出会えて感謝しています。
- ②安定して高品質なメロンを生産していけるようになりたいと考えています。
- ③パソコンやゲーム機を使ったゲーム全般が好きです。オートバイは30年以上乗っていましたので得意です。ミリタリー系が好きなので多少知識があります。
- ④少しはメロン作り慣れましたか?無理はしないで自分のペースで頑張ってください。

いけ だ え み こ
池田 恵美子さん(57)【追分支所】経営主:新規参入
経営体:野菜

- ①メロンを作りたいという主人に何も考えずについてきました。
- ②高品質なおいしいメロンを作りたいです。
- ③猫とたわむれること。
- ④体に気を付けて夫婦仲良く協力し合ってメロン作りがんばってネ!

みや うち いつ き
宮内 逸己さん(20)【追分支所】経営主:宮内康博
経営体:畑作・野菜

- ①幼少期まで追分で仕事を手伝いながら楽しく暮らせていたのですが、札幌へ引っ越したことで合わない環境で思苦しさを感じていたため、昔のように暮らしたいという思いで戻ってきました。
- ②先代たちの築いてきた農作物の品質と信頼を落とさず、更に向上させて誰よりも良い作物を作りたいと思います。
- ③趣味は、運動をすることやゲームをすること。特技としては、長年バスケットをしていたので少しは自信があります。
- ④今のようには指示されなきゃ動けないのではなく、仕事を理解して自分から動けるようになってほしいです。

お が た し ろ う
尾形 司朗さん(24)【厚真支所】経営主:尾形精一
経営体:稲作・畑作・野菜

- ①震災後から両親の体が弱っていき、元気もなくなっていくのを見ていました。両親には、何ん自由なく育ててもらったので、恩返しをしたいと思い決心しました。
- ②今は仕事を覚えるので精一杯ですが、今後のことはこれから考えます。
- ③趣味は、岩盤浴、ボルタリング、映画鑑賞(基本的にまったりするのが好きです)
- 特技は、ルービックキューブ、知恵の輪
- ④体は壊さず、両親を楽しませられるように頑張ってください。

よし おか ひろ かず
吉岡 博和さん(42)【厚真支所】経営主:吉岡 茂樹
経営体:稲作・畑作・野菜

- ①今後の地域維持を考えて
- ②食育を中心に地域と連携した農業
- ③アウトドア
- ④天気と会話出来るようになりましたか?

かな や しゅんすけ
金谷 俊輔さん(32)【厚真支所】経営主:新規参入
経営体:野菜

- ①食糧自給率に興味を持ったことが始まりで、書籍や農業に従事する中自分で農業をやりたいと思ったため。
- ②ほうれん草をしっかりと栽培できるようにすること。他に栽培できる作物を増やしていく。
- ③読書
- ④いろいろな先輩の話を聞き実践して基本を押さえ、自分なりのやり方を見つけ納得できる農家になって下さい。

さか い み わ
酒井 美和さん(37)【厚真支所】経営主:新規参入
経営体:野菜・果樹

- ①10年ほど前にブルーベリー農園で収穫のアルバイトをしてとても楽しかったことが最初に農業に興味を持ったきっかけです。コンツと積み重ねる農作業が好きことや自分の採配で仕事ができることに魅力を感じ農業を志しました。
- ②作物と土にしっかりと向き合い地道にやっていきたいです。地域の人に身近に感じてもらえる農家が目標です。
- ③趣味:旅行、読書 特技:英語
- ④体を大事にして頑張ってください。

あら い しん いち
荒井 慎一さん(41)【厚真支所】経営主:荒井信博
経営体:稲作・畑作

- ①小さい頃から収穫したての美味しい野菜や米を食べていて、美味しさや安定性を多くの人に広めたいと思い農業を志しました。
- ②作業効率を高め、大規模な農業をしていきたい。
- ③陸上競技
- ④基本を忘れず、楽しく農業をやっていますか?

もり やま しょう
森山 翔さん(22)【穂別支所】経営主:森山幸治
経営体:畑作・野菜

- ①実家が代々農業を営んでおり、昨今の食料自給率等の問題を考えると農家戸数を減少させないために、実家の農業を継ぐことを決めました。
- ②大学では落花生等の新しい作物を北海道に導入することについて研究していたため、北海道で産地化されていない作物を栽培していきたい。
- ③小さい頃からはゲームや読書が好きで、最近では洗車にハマっています。
- ④5年間で経営について勉強し、本格的に継ぐことができるようになります。



激励状を受け取る穂別地区森山翔さん



就農してからの抱負を一言

J Aとまこまい広域は6月8日、令和2年度の新規就農者激励会を厚真町のJ A本所で開催した。

未来の北海道農業・地域を担う一員として意欲的に農業へ取り組む新規就農者を激励する目的で実施され、今年で18回目を迎える。J Aグループ4連・全共連から激励状に加えて、書籍や苗木等が贈られたほか、J Aとまこまい広域からは簡易的にpHを測ることのできる「土壌酸度測定器」が贈呈された。コロナ禍の影響で開催が危ぶまれたが、北海道の緊急事態宣言が解除されたことや、未来の農業を担う就農者への激励会を開きたいとの想いで、感染対策を万全に講じての開催となった。

今回は、早来地区・追分地区・厚真地区・穂別地区から11名の新規

就農者が就農した。18回目を迎える激励会は、今年の新規就農者を含め延べ162人が新規就農者となり農業者の仲間入りを果たしている。

J Aを代表して宮田広幸組合長は「皆さんは、農業・地域としての担い手でありますが、今後の地域農業を支えていく過程には様々な苦悩があると思います。農協は、農業者の農業者による、農業者の為に組織です。いつでも農協に相談して頂きたい」と述べました。

激励会終了後、J A北海道中央会札幌支所の千葉耕平主幹が「J Aの成り立ち・J A組織とは・J A青年部とは、北海道を取り巻く情勢」の講習会を開催したほか、J A職員からはJ Aの概要が説明された。





▲勤続30年表彰の佐々共済部長



▲リモートで新採用職員の紹介を各支所へ配信



▲リモートにより配信される宮田組合長の挨拶

コロナ禍でWeb形式採用 職員研修 大会実施

胆振管内のJAとまこまい広域では5月27日、Web形式で第19回職員研修大会（以下、職員大会）が150人を超える正職員を対象に開催された。例年では、6支所（白老・苫小牧・早来・追分・厚真・穂別）が一堂に会し新採用職員紹介や各表彰、講師を招いてのコンプライアンス研修のほか、広域に広がる支所間の交流を図るため懇親会が開かれていた。未だに全世界でコロナ禍の終息に目処が立たない状況下ではあるが、全職員の団結とコンプライアンスの徹底を図るため実行委員会が設けられ、新型コロナウイルス感染拡大を考慮しWeb形式での開催に踏み切った。

開催に当たり宮田広幸組合長は「東京都とほぼ同じ面積の当組合の支所間距離を補う道具としてWeb形式の活用を目指しています。また今年の事業計画は『胆振東部地震からの復興』『金融収益低下や働き方改革に対応する事業構造の再構築』としていきますので、職員の皆さんは『人にやさしく、自分に厳しく』一年間すすめていただきたい」と挨拶した。

今年の職員大会は本所に設けた会場から各支所へ中継され、一人一人が自席のパソコン画面を通して会場の様子を視聴する方法を採用した。例年2時間を超える職員大会ではあるが、JA綱領朗唱・懇親会を割愛したほか、表彰においては登壇する人数を減らすなどして、1時間に短縮。感染対策を講じた。また研修会講師には中央会札幌支所の村井憲保主幹、信連札幌支所の徳永教頭課長と寺尾直記調査役が札幌からリモート参加した。

最後に堀弘幸専務から「将来的にこの地域でも農業者が激減することが予想されます。胆振東部の1万haの農地を無駄なく利用し、組合員又は職員、その家族たちの生活を守り繋ぐ役目が農協にはあるでしょう。そのためには今までとは違った取り組みが必要になるかもしれません。我々も組合員との自由な意見交換の中から未来を創造し、方向性を示していきましょう」と挨拶し初の試みとなったWeb形式での職員大会が閉会した。



▲堀専務の閉会挨拶



▲リモートでのコンプライアンス研修の様子②（自席にて受講）



▲リモートでのコンプライアンス研修の様子①

広域

良質米生産出荷表彰

元年産「ゆめぴりか」

北海道米の新たなブランド形成協議会は、令和元年産「ゆめぴりか」良質米生産出荷表彰者を発表し、ＪＡとまこまい広域からも多数の生産者が受賞した。この表彰は、「ゆめぴりか」作付生産者に対して、基準内品の生産並びに協議会の取組参画への敬意を兼ね、授与品を贈呈し作付生産者の意識向上、及び認定マークの認知向上を図ることを目的に開催されている。

同協議会表彰の基準は、タンパク値6・8％以下の生産者・集荷団体へ「優秀表彰」金色認定マーク。基本的なゆめぴりか基準値であるが、タンパク値7・4％以下の生産者・集荷団体へは「優良表彰」えんじ色認定マークのマグネットがそれぞれ授与された。その他には、両表彰の共通基準として「ゆめぴりか」出荷率が全道平均を上回る生産者・集荷団体とされている。

当ＪＡからは、優秀表彰者23名、優良表彰者51名が受賞を果たした。受賞した生産者は「今後もより良い品質のゆめぴりか栽培に力を入れ、消費者へ最高品質の商品を届けたい」と述べた。



▲授与された認定マーク（優秀表彰（上）、優良表彰（下））



広域

米の低温貯蔵と 南瓜の一時保管先として

厚真地区農産物集出荷貯蔵施設の地鎮祭実施

ＪＡとまこまい広域では6月17日、厚真町上野地区で農産物集出荷貯蔵施設（以下、施設）の地鎮祭が行われた。当ＪＡ役員及び行政など関係機関ら約36名が参加し、工事の安全と建物の無事完成を祈願した。会場へ入場する際は手の消毒とマスク着用を徹底し感染対策を講じての開催となった。

挨拶で宮田組合長は「この施設は、胆振東部地震からの復旧として厚真町様から大きなご支援頂き、宮坂町長様をはじめ町議会並びに関係機関の皆様にも厚くお礼申し上げます。また、施設工事の安全



▲お礼の挨拶をする宮田組合長



▲四方祓之儀の様子

と事故無く完成することを祈願します」と述べた。

この施設は、米を通年において低温貯蔵を行うことにより製品の品質を維持する他、近年作付けが増加している南瓜を一時保管し、より一層の産地化に向けた地域の拠点施設とすることを目的としており、低温倉庫850㎡（米保管 約1,600t）、常温倉庫517.5㎡（南瓜保管 約230t）、通路等を含めると鉄骨造の平屋建てで床面積1,700㎡の規模で建設される。工期は令和2年7月1日着工し、令和3年2月26日の完成を予定している。

広域

赤かび病防除徹底指導

「麦」第2回青空教室開催

胆振管内のＪＡとまこまい広域は5月29日、麦の第2回青空教室（圃場巡回）を開催し、各支所から生産者32名、ＪＡ担当職員15名、普及センター2名が参加した。

当ＪＡでは東京都とほぼ同じ面積（1市4町）を管轄しており、その中で穂別地区・厚真地区・早来地区・追分地区と3町に跨り麦の作付けが行われている。（※早来地区と追分地区は合併し安平町）



▲普及センターの担当より説明（穂別地区）



▲普及センターの担当より説明（追分地区）

そのため普及センターと連携しながら、各地区の圃場を回り地区ごとへの指導や情報提供又は情報共有の観点から青空教室を開催している。

今回の青空教室では赤かび病、赤さび病・なまぐさ黒穂病など病害における防除をメインに情報提供し、中でも赤かび病防除を重点的に指導した。普及センターの担当は「赤かび病は防除1回目のタイミングがとても重要で、圃場内の穂が出揃った開花始に1回目。また穂全体に薬剤が付着することが重要で」と説明し青空教室は終了した。

白老・厚真 追分

獣魂慰霊祭実施

命の恵みに感謝する

ＪＡとまこまい広域は5月19日の白老（真證寺前）を皮切りに、6月1日には厚真町（厚真神社前）、6月15日には旭陽牧場にて獣魂慰霊祭（以下、獣魂祭）を実施した。各獣魂祭において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として規模を縮小し3密を避けての実施となった。獣魂祭とは、人のために犠牲になって死んでいった動物たちの御霊を慰め、人に崇めることなく安らかに過ごせるようにご祈念することを言い、人の食料となったり、薬品開発等の実験用となったり、その他人々の生活向上のために犠牲になつてくれた動物を慰霊する



▲白老獣魂慰霊祭の様子



▲厚真町獣魂慰霊祭の様子



▲旭陽牧場獣魂慰霊祭の様子

ために執り行われる。当ＪＡにおいては、牛肉や牛乳・豚肉等として人々の食卓を飾る食材として消費者に提供しており、家畜の霊を供養し、命の恵みに感謝するために年1回行われている。

追分

生産者一丸でコロナ禍乗り切る

追分カンロ初出荷（初競り中止）

5月27日、安平町追分特産である追分カンロが初出荷を迎えた。今年最初の出荷となったのは、二又哲雄さんで初出荷のカンロは「小林香瓜」10箱となった。

「今年は生育が順調で糖度ものり、良い出来のカンロを出荷できた」と二又さんは話す。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初出荷セレモニーや初競りが

中止となり、仲卸業者らが個別に買い付ける相対取引が実施され、最高値1箱8千円（3L）、今回出荷された10箱合計でおよそ6万4千円（税込）となった。

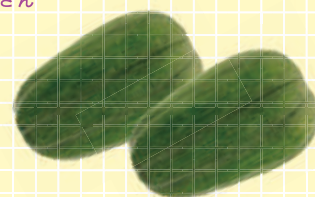
追分カンロ組合の岩倉組合長は「新型コロナウイルスの影響を受け、価格低迷が見込まれるが、生産者一丸となり数量をとって乗り切っていきたい」と話した。

同組合では、生産者6戸で3・5haを

栽培し、9月末までに8,050箱を出荷する予定で、販売金額は2,415万円を目指す。



▲初出荷した二又さん



穂別

苦小牧市場の初競りで高値1万3千円

ほべつカンロ「ともりん」初出荷・初競り

むかわ町穂別地区のオリジナルブランド、ほべつカンロ「ともりん」が6月10日に穂別支所選果場にて初出荷を迎えた。

今年はほぼ例年とおりの出荷時期となり、ほべつカンロ生産部会（小林朋導部会長）の中村由美さん、橋本幸雄さん、山中光治さんが初出荷を飾った。

翌日6月11日には苦小牧市公設地方卸売市場にて初競りが行われ、秀品2Lサイズ3箱（8kg／箱）、2Lサイズ2箱をはじめ計11箱が競りにかけられた。そ



▲ともりんを初出荷した中村さん（左）と小林部会長（右）



▲苦小牧市公設地方卸売市場の競りの様子

のうち秀品2Lサイズ1箱に前年より高値の1万3千円の値がついた。

初出荷を飾った中村さんは「今年は春先から寒く小ぶり傾向だが、例年通り糖度の高いカンロを出荷することができてよかった」と話す。

ほべつカンロ生産部会では、本年度21戸の部会員によって、およそ3ha作付し約120tの出荷数量を見込んでおり、6月下旬～7月上旬にピークを迎え10月上旬まで出荷が続く予定だ。

厚真

出来秋を願う

豊稈祈願祭を執り行う

JAとまこまい広域厚真支所は6月15日、厚真町本郷にある今冬に完成した多目的倉庫にて第41回厚真支所農業まつり豊稈祈願祭を開催した（震災の影響で取り壊した3号倉庫の跡地に建設。例年はあつま田舎まつりに合わせて開催していたが、新型コロナウイルスの影響により田舎まつりは中止となったため単独での開催となった。参加者を昨年の半分に抑えるなど3密をさける対策を講じた。



▲豊稈祈願の様子①



▲豊稈祈願の様子②

JA役職員や行政、農業関係者らが出席し、出来秋を願う玉串を奉納した。祈願祭での挨拶で堀弘幸専務は「新型コロナウイルスによって物流や消費に影響が及ぼされています。厚真町の農産物をしっかりと届けられるようにJAとしても最善の努力をすることともに、今年の出来秋をみなさんと喜んで迎えられることを祈念します」と述べた。

穂別

むかわ町穂別地区特産物「ほべつメロン」初出荷

ほべつメロン初出荷・初競り

むかわ町穂別地区の特産物「ほべつメロン」が6月10日よりJAとまこまい広域穂別支所選果場にて初出荷を迎えた。今年はほべつメロン生産部会（深谷孝部会長）の石崎憲一さんが初出荷を飾った。

翌11日には札幌みらい中央青果にて初競りが行われ、秀品4玉6箱（8kg／箱）、5玉1箱など計12箱が競りにかけられ、コロナウ



▲初出荷されたメロンを検査する後藤警検査長



▲札幌みらい中央青果で行われた初競り

イルスの影響もあり秀品5玉1箱が最高3万円の値で競り落とされた。

初出荷にあたり石崎さんは「今年は春先の夜温が低く管理に苦労したが、玉まわりは大きく、糖度も15・7度と申し分ないものができた。コロナウイルスの影響で需要と価格が心配だが、例年通りの高品質のメロンを消費者に味わってもらい、食卓を明るくしたい」と話した。

ほべつメロン生産部会では、本年度27戸の部会員によって、およそ17haを作付け、約270tの出荷数量を見込んでおり、7月中旬に出荷のピークを迎え、8月中旬まで出荷が続く。



知識と技術を磨き、 未来の成功へ繋げる



悠揮さんは駒澤大学附属
苫小牧高等学校から北海道
ハイテクノロジー専門学校
へ進学。専門学校で登録販売
者の資格を取得し、卒業後は
ドラッグストアに就職した
が、平成28年、父義彦さんの
後継者として就農した。

就農のきっかけ

専門学校在学中まで就農の意
思はなかったが、就職し社会に出
ると考え方が少しずつ変化した。
自分が幼い頃から見てきた土地
は親や先祖が代々守り継いでき
た土地であり、次第に自分も守り
継ぎたいと思うようになった。父
からは「やるならちゃんとやれ」
と激励の言葉もあり、23歳の時に
強い意志を持って就農した。

農業のやりがいと目標

経営者である父と、母、悠揮さん
の3人で、水稲・小麦・小豆・甜菜・
加工スイートコーン・アスパラを
作付けし、約31haの規模で経営し
ている。

農業は全てが自己責任で、結果
が数字にも表れる。知識と技術を
磨き、未来の成功の糧にしてい
くことが今のやりがい。

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/7月～9月

令和2年6月24日 札幌管区気象台発表

気温予想

3ヵ月	低20%	並30%	高50%
7月	低20%	並40%	高40%
8月	低20%	並40%	高40%
9月	低20%	並30%	高50%

降水量予想

3ヵ月	低30%	並30%	高40%
7月	低30%	並30%	高40%
8月	低30%	並40%	高30%
9月	低30%	並30%	高40%

- 7月
- 北海道日本海側・オホーツク海側では、天気は数日の周
期で変わるでしょう。北海道太平洋側では、平年と同様
に曇りの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い
確率とともに40%です。
- 8月
- 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、平年並ま
たは高い確率とともに40%です。
- 9月
- 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、高い確率
50%です。

出典：http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/101_10.html
気象庁ホームページ/防災情報/季節予報/北海道地方3ヵ月予報より

令和2年度 JAとまこまい広域 生産組織、組織代表者、事務局担当者名簿

令和2年4月1日時点

組 織 名	役 職 名			地区名	組 織 名	役 職 名		
	会 長	副会長	事務局			会 長	副会長	事務局
広域米生産振興会	松田 伯明	松原 信一	横山 達也	早 来	米生産振興会早来支部	松原 信一	梅田 智之	楠野 昭則
				追 分	追分米生産振興会	櫻井 博文	城宝 敏克	森 竜也
				厚 真	米生産振興会厚真支部	松田 伯明	酒井 逸也	中村 清人
				穂 別	JAとまこまい広域米生産振興会穂別支部	森本 豊	星 正寛	中村 伸一
広域麦生産振興会	澤田 和博	土屋 祐規	三田 邦明	安 平	麦生産振興会安平支部	安井 貴志	高林 優一	森 竜也
				厚 真	厚真町畑作振興会麦部会	澤田 和博	荒城 一憲	戸坂 嘉伸
				穂 別	JAとまこまい広域麦生産振興会穂別支部	土屋 祐規	東 洋一	大江 雅之
				早 来	豆類生産振興会早来支部	大井 雅史	鈴木 悟	原子 優斗
広域豆類生産振興会	大井 雅史	工藤 英暢	上田 周志	追 分	追分豆類生産振興会	岩倉 啓一	谷口 龍治	中泉 英男
				厚真・穂別	豆類生産振興会厚真支部	工藤 英暢	早坂 信一	戸坂 嘉伸 大江 雅之
				早 来	てん菜生産振興会早来支部	近藤 健一	南 美彦	佐藤 雄二
				追 分	追分てん菜生産振興会	大久保 悟	中田 正敏	森山 拓
広域てん菜生産振興会	中島 豊治	近藤 健一	上田 周志 菅井 光義	厚真・穂別	てん菜生産振興会厚真支部	中島 豊治	大蔵 巧	小杉 卓馬
広域そ菜園芸連絡協議会	木戸 正人	安井 貴志	小寺 裕則	苫小牧	ハスカップ園芸作物振興会	齋藤 謙吉		斉藤 克則
				早 来	そ菜園芸振興会	小谷 正芳	出口 良助	森江 和宏
					いんげん部会	竹田 和義	千坂 務	森江 和宏
					軟白ねぎ生産組合	出口 良助	寺島 巧	森江 和宏
					北海道21世紀村	金子 博道	出口 良助	森江 和宏
				追 分	そ菜園芸振興会	安井 貴志	西島 隆行	森山 拓
					アサヒメロン組合	安井 貴志	林出 一樹	森山 拓
					カンロ組合	岩倉 啓一	友広 博	開米 輝
					ごぼう生産部会	大久保 悟	高橋 浩司	開米 輝
				厚 真	ハスカップ部会	長谷 誠良	山口 善紀	厚海 満紀
				穂 別	穂別営農振興会議	種田 和彦	深谷 孝	吉岡 淳
					ほべつメロン生産部会	深谷 孝	後藤 馨	近藤 克之
					むかわ町穂別馬鈴薯原種生産組合	柴田 健志		富士野周平
					穂別アスパラ部会	中澤 浩	柴田 健志	早坂 裕哉
					穂別カンロ生産部会	小林 朋導	中村 由美	中村 伸一
					穂別長芋生産部会	種田 和彦	佐田 正彦	早坂 裕哉
					穂別葉菜類有機栽培研究会	清川 正	菊地 英智	近藤 克之
				穂別にら栽培研究会	菊地 英智	清川 正	大江 雅之	
広域南瓜生産部会	清瀬 利一	滝 敦人	小寺 裕則	早来	広域南瓜生産部会 早来支部	品川 真澄	小谷 暁志	清水 和人
				厚真	広域南瓜生産部会 厚真支部	滝 敦人	丹羽 俊介	小寺 裕則
				穂別	広域南瓜生産部会 穂別支部	清瀬 利一	石崎 憲一	早坂 裕哉
広域ほうれん草部会	上田 文夫	竹葉 淳弘	厚海 満紀					
広域ブロッコリー部会	尾形 精一	金谷 清万	森 昌弘					
広域馬鈴薯生産部会	木戸 正人	山崎 基憲	川副 春哉					
広域グリーンアスパラ部会	高林 優一	出口 良助	森江 和宏					
広域花卉専門部会	齋藤 謙吉		太刀野寛人	苫小牧	花卉生産組合	齋藤 謙吉	大槻 昌一	斉藤 克則
				追分	花卉生産部会	富永 勝利	水橋 勉	開米 輝
				厚真	花卉部会	桐木 洋光	折坂 泰宏	太刀野寛人
広域いちご部会	内山 豊	佐伯 修一	井原 巧太					
広域トマト部会	桐木 政三	沖田 善輝	森 昌弘					
広域畜産振興連絡協議会	酒井 徹	池田 祥一 富樫瑛一朗	木林 茂樹					
広域酪農振興会	池田 祥一	松本 拓哉 溝口 憲昭	剣持 拓史					
広域和牛振興協議会	酒井 徹	小松 浩 阿部 高幸 米田 俊之	石黒 琢也	白老・苫小牧	和牛生産改良組合	阿部 高幸	山下 廣司	且見 暁
				安平	和牛生産改良組合	酒井 徹	西島 隆行	岡光 寛夫
				厚真	和牛生産改良組合	米田 俊之	浅野 美樹	秋田谷友希
				穂 別	和牛生産改良組合	小松 浩	西 柴田 健志	新岡 駿斗
広域和牛振興協議会担い手部会	岩崎 考真	藤江 祐輔	新岡 駿斗					
広域養豚振興協議会	富樫瑛一朗	斉藤 政則	石黒 琢也					
もぎたて市部会	桐木 政三	富樫美紀夫 堀田 昌意	本田 健悟					
広域青年部	渡部 大樹	石田 拓矢 富樫瑛一朗 小沢憲一郎 上村 将兵	川原 拓也	白老支部	広域理事 石田 拓矢	大浦 夕輝	天野 勝晶 井澤 佑介	松田 孝裕
				早来支部	広域理事 富樫瑛一朗	池田 伸二	池田 晃司	黒畑 宏明
				追分支部	広域理事 小沢憲一郎	小西祐太郎	小沢憲一郎	開米 輝
				厚真支部	広域理事 渡部 大樹	池野 暢宣	石井 幸秀 東川 忠矢	峯村 憲治
広域女性部	佐藤美奈子	大頭 陽子	森山 妙	穂別支部	広域理事 上村 将兵	田代 大輔	菊地 亮介	平戸 喜崇
				白老支部	広域理事 天野志保子	中村美智子	竹田 照美	澤田 聖美
				苫小牧支部	広域理事 山田 郁子	飯田 秀子	及川 千賀	斉藤 克則
				早来支部	広域理事 内藤 圭子	小泉かづ子	大井 弘美	且見 利奈
				追分支部	広域理事 中道 恵美	小西 睦子	小路 恵子	高階 恵子
				厚真支部	広域理事 佐藤美奈子	澤田美代子	西村 雪絵	山田 都
				穂別支部	広域理事 大頭 陽子	宮崎 晴美	東 星 恵子 恵子	中澤ひろみ

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

水稻省力化試験 (高密度播種育苗) の紹介

近年、省力化を目的として、箱マツト育苗において高密度に播種し(1箱に催芽粉400～600ml)、苗箱数を減らす技術の試験を実施しています。

育苗期間は「短期間(14日程度)で仕上げる高密度播種短期育苗(密苗)」と、中苗と同じ「30日間育苗する密播中苗」に分けられます。

試験水田に栽培概要を記載した看板を設置していますので、実際に水田を見てください。



※詳細は普及センターまでお問い合わせください。

ワンポイント営農情報

農産物出荷と合せて、栽培履歴の提出は生産者の義務です!!

○生産履歴管理工程apras(栽培履歴)

平成15年の農業取締法改正と食品衛生法改正公布に伴い生産履歴記帳は生産者の義務となりました。農業基準の即時照合と精度の高い農業の適正使用診断を図るため、平成29年度より生産履歴の回収方法を「apras」に変更しました。

○提出方法は2種類。下記のQRコードを利用し、インターネットを利用する方法。または、帳票(紙)を利用する方法。

JAとまこまい広域ホームページのaprasバナーをクリック。



直接読み込む時は、下記QRコードを!

モバイル版
(スマートフォン)
QRコード



インターネット版
QRコード



Web・帳票(紙)、いずれの形式でも提出は可能。

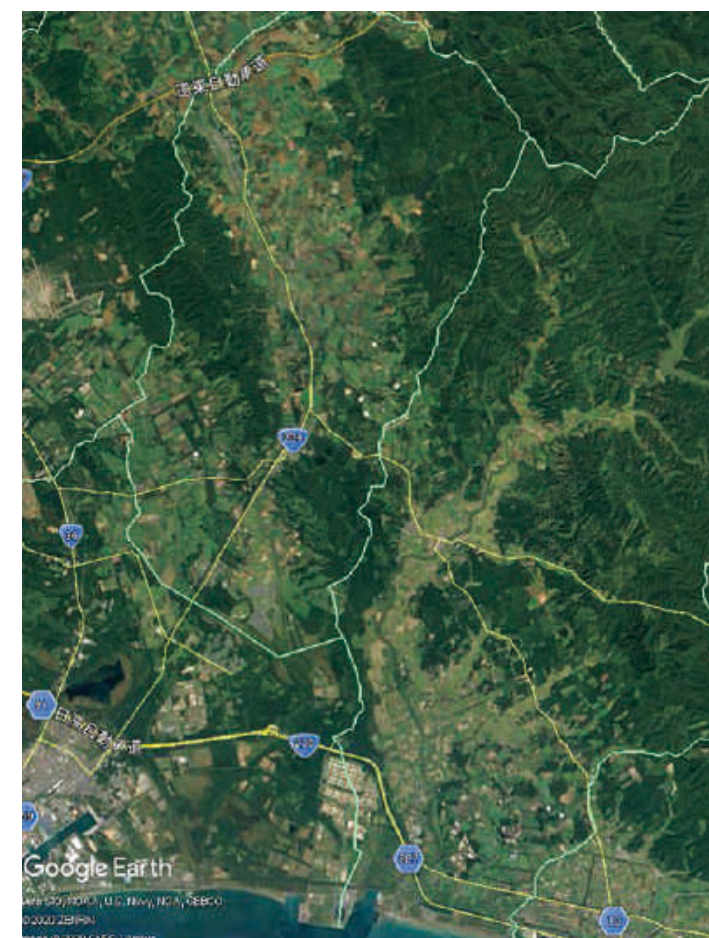
別途送付いたしました、肥料名一覧など活用してください。

提出の際は、各振興会・部会事務局まで!

●マメシクイガの適期防除に役立てよう!!

○マメシクイガの飛来調査点で飛来個体数を調査します。
(フェロモントラップ設置)

広域豆振興会の委託を受け、飛来調査を行い、飛来個体数と着床状況から予察し、適期防除の情報を配信します。



マメシクイガ…

前年の幼虫が地中で越冬します。
一生の大半を幼虫(土まゆ)の状態ですごす。
日長の変化(長日→短日)で休眠が打破。

① 大豆を探し求めて、成虫が飛来。

成虫の羽化時期は、7月中旬以降～8月中旬頃まで
(早朝～午前10時頃、午後3時～夕方に飛翔)

② 飛来地に2～3cmほどの莢がある。

③ ①・②の条件が揃った状況で、産卵。

産卵後、1週間ほど経過した後

④ 幼虫が子実を食害します。

産卵後六日後を目処に防除。

重要!! 畑作技術情報 (普及センター配信)

飛来調査を基に、マメシクイガの
適期防除の情報が配信されます。

道農政部発行のマメシクイガによる被害軽減対策
の確立と生産現場への普及↓



合せて読んでほしい情報

不明な点がございましたら、各振興会・部会事務局担当者、クリーン農業係までお問合せ下さい。

JA北海道中央会



農ビル(札幌市中央区北4条西1丁目1番地)で再開いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントや式典の中止が相次いでおり、国内の花き需要は大幅に減少しています。そこで、JAグループ北海道では「花を贈って応援!みんなのよい花プロジェクト」と題して、「国産花き販売会」の実施により、国内の花き農家を応援しております。販売会は7月末までの毎週金曜日の開催を予定しております。

JAグループ職員のみならず、花が好きな方や花き農家を応援して下さる方、JAグループ北海道を応援して下さる方など、たくさんのお客様にお越しいただいております。引き続き、是非ご自宅にお花を飾り、花き農家を応援しています。

JAグループ北海道では、4月中旬より中止しておりました「国産花き販売会」を、6月5日(金)より感染防止対策に十分配慮した上で、札幌市北



JA北海道信連



令和元年度に、JAバンクの食農教育活動として、「親子で学ぼう!あぐりキッチン教室」を全道JAの協力を受け、開催しました。その開催目的は、子どもの農業に対する理解を深め、北海道農業やJA・JAバンクのサポーター層を拡大することにあります。

先ごろ、農協観光の優績JA表彰において、当活動が地域の交流・活性化に寄与したと認められ、地域交流部門の優秀賞を受賞しました。



©よりぞう

JA共済連北海道



令和2年度に道内各市町村の消防本部へ寄贈する救急自動車が決まりました。救急自動車の寄贈は、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年取り組んでおり、昨年度までに、延べ206台の救急自動車を道内各地の消防本部へ寄贈しております。

今年度は、上川北部消防事務組合消防本部中川消防支署(中川町)、網走地区消防組合消防本部大空消防署(大空町)、大雪消防組合消防本部美瑛消防署(美瑛町)の3か所となります。今後も行政とJAとの連携を図りながら、交通事故の防止と被害者救済への取り組みを強化してまいります。

ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共同で展開している「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、同球団選手と道内生産者が交互にメッセージを送り合う「キャッチボールトーク」動画を制作、同プロジェクトの特設サイトに公開しました。登場しているのは、JA道青協の村田辰徳会長、JA道女性協の青山伸子会長ら生産者と、ファイターズの中島卓也、近藤健介両選手らそれぞれ5人ずつで、新型コロナウイルス対策や農作業、トレーニング内容などについて交互に語り、エールを交換し合いました。



JAグループ北海道の連合会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道厚生連



新型コロナウイルスの影響で一時中止としておりました人間ドックですが、すべての病院・クリニックにて再開しました。一部でご利用いただけないオプション検査もございますが、感染対策の徹底を図っておりますので、安心して受診くださいますようお願いいたします。



ホームページはこちらです。
どうぞご覧ください。



JA日誌

2020 7月

16日(木)

17日(金)

第7回理事会、2020日産畜産共進会(黒毛和種)中止

18日(土)

19日(日)

20日(月)

21日(火)

22日(水)

23日(木)

24日(金)

25日(土)

26日(日)

27日(月)

28日(火)

29日(水)

30日(木)

ホクレン肉牛市場

31日(金)

ホクレン乳牛市場、とまこまい港まつり中止〜2日

2020 8月

1日(土)

第2四半期決算棚卸

2日(日)

3日(月)

4日(火)

5日(水)

6日(木)

7日(金)

第8回理事会、役員コンプラ研修

8日(土)

9日(日)

10日(月)

11日(火)

12日(水)

13日(木)

14日(金)

15日(土)

※新型コロナウイルスの影響により中止となる場合がありますのでご了承下さい。

農林年金の特例年金制度の完了について

農林漁業団体職員におかれましては、農林年金改正法の施行日を定める政令(平成31年政令第145号)が平成31年4月5日に公布され、施行日は令和2年4月1日と定まりました。

これにより、令和2年4月1日の施行日以降、対象者全員に特例一時金を支給して農林年金の特例年金給付は終了することになります。

※期日までに請求がない場合は、時効により消滅します。お手続きをお忘れのないようお気をつけ下さい。

※詳しくは、農林年金(農林漁業団体団体職員共済組合)ホームページをご覧ください。

ホクレンSSサマーフェア2020キャンペーン

ホクレン各スタンドにおいて、サマーフェア2020としてお客様還元キャンペーンを実施します。実施内容につきましては、以下の通りとなります。

1. 実施期間 令和2年7月23日(木・祝)〜9月22日(火・祝)

2. 週末ホクレンSSポイント4倍 3. ポイント抽選

4. レシート応募・抽選施策

5. ポイント会員ページログインボーナス 6. アンケートボーナス

※詳細につきましては、各ホクレンスタンド担当者へお問い合わせ下さい。

白老牛農産物フェア中止のお知らせ

白老支所では例年8月上旬に開催しておりました白老牛肉フェアですが、新型コロナウイルス感染拡大を受け中止となりましたのでお知らせいたします。

組合員の皆さまへ 共済推進ご協力のお礼

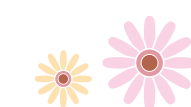
組合員の皆さまにおかれましては、毎日の農作業に大変お忙しいことと存じます。日頃よりJA事業に対し特段のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

5月13日の白老支所を皮切りに全支所で行った「共済一斉推進」の際には、大変お忙しい中お時間を割いていただき、誠にありがとうございました。併せて、ご契約していただきました皆さまへも、心よりお礼申し上げます。

今後ともJA事業へのご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、農作業中の事故・ケガなどには十分ご注意され、豊穡の秋を迎えられますことを心よりお祈りいたします。

お悔やみ

謹んでご冥福を
お祈りいたします。



月日	地区	氏名	享年
5/31	むかわ町	久島 清三さん	86
6/1	安平町	小西カズエさん	95
6/21	厚真町	牛抱 登さん	78
6/22	安平町	鈴木 孝さん	90